



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月24日

上場会社名 株式会社 オービック
 コード番号 4684 URL <http://www.obic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 昇一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長 (氏名) 加納 博史
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3245-6510

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	12,314	10.5	4,960	14.6	5,577	14.8	3,620	19.8
25年3月期第1四半期	11,141	1.1	4,326	5.1	4,856	△2.7	3,021	△3.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 3,224百万円 (96.5%) 25年3月期第1四半期 1,640百万円 (△38.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	403.71	—
25年3月期第1四半期	320.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	139,987	122,102	87.2	13,615.18
25年3月期	139,965	121,120	86.5	13,505.64

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 122,102百万円 25年3月期 121,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	200.00	—	250.00	450.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	250.00	—	250.00	500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 25年3月期の期末配当金には創立45周年の記念配当50円00銭を含んでおります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,300	6.6	10,350	3.2	11,450	4.3	7,400	8.1	825.14
通期	53,000	5.3	20,700	6.6	22,900	6.7	14,800	4.1	1,650.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	9,960,000 株	25年3月期	9,960,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	991,869 株	25年3月期	991,869 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	8,968,131 株	25年3月期1Q	9,421,951 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成25年4月24日発表の通期連結業績を修正しておりません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足資料	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年の安倍政権への交代を契機に、日銀による金融緩和や公共投資の増加等のいわゆる「アベノミクス」と呼ばれる経済対策の影響で円安傾向が加速し、消費や輸出が回復するなど、景気は持ち直しの動きが見られます。一方で、欧州の債務問題やアメリカの財政状況、中国の景気の先行き不安等の海外情勢は景気回復のリスクとなっています。

当情報サービス業界においては、企業のシステム投資に対する姿勢は回復傾向にありますが、引き続き厳しいビジネス環境が続いております。このような環境の中で、企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、営業とシステムエンジニアが一体となってビジネスに対応する製販一体体制を強化するとともに、社員一人ひとりの成長を目指した社員教育に注力することで提案力の強化・生産性の向上を図り、顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である基幹系統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計情報システムを中心に販売・生産情報システムなどが様々な業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が好調に推移しています。業種・業務別のソリューションでは、金融機関向けの不動産担保評価・管理システムや信用リスク管理ソリューション、そして不動産業界向けのソリューション等が幅広く求められました。また、採算性の良いシステムサポート事業が安定的に伸長し、業績に寄与いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高123億14百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益49億60百万円(同14.6%増)、経常利益は55億77百万円(同14.8%増)、四半期純利益は36億20百万円(同19.8%増)となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいり所存であります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

製販一体での直接販売によって、リソースを意識しつつ、幅広いニーズを捉える顧客満足度の高い提案活動を続けております。その結果、主力の基幹系統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に、販売・生産情報システムなどが様々な業種の企業で求められております。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が好調に推移しています。業種・業務別のソリューションにおいては、金融機関向けの不動産担保評価・管理システムなどが堅調に推移いたしました。一方、ハードウェアの販売は減少しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は、73億45百万円(前年同期比15.2%増)、営業利益は30億円(同25.2%増)となりました。

(B) システムサポート事業

当社の主力サービスであるシステムの「運用支援サービス」が順調に伸長しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は、35億97百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益は17億84百万円(同1.9%増)となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

引き続き、付加価値の高い業務用パッケージソフトの提案に注力しております。また、印刷サプライなどのオフィス用品の販売が堅調に推移しております。一方で、オフィス家具の販売は減少しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は、13億71百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益は1億75百万円(同1.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は447億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2億73百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、25億42百万円であります。これは主に、税金等調整前四半期純利益が55億75百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が5億36百万円計上されたこと及び売上債権が7億18百万円減少した一方で、法人税等の支払44億72百万円が発生したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、26百万円であります。これは主に有形固定資産の取得により24百万円減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、22億42百万円であり、これは配当金の支払によるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、豊富な受注残を確保しながら業績のオペレーションを行っております。主力であるシステムインテグレーション事業では、約6ヶ月の受注残の確保を目標としておりますが、当第1四半期連結会計期間末現在、概ね目標どおりの受注残を保有しており、業績は予定通り推移しております。よって、平成25年4月24日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,460	46,733
受取手形及び売掛金	7,357	6,638
商品及び製品	108	91
仕掛品	561	527
原材料及び貯蔵品	100	96
その他	1,904	2,081
貸倒引当金	△8	△3
流動資産合計	56,484	56,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,500	3,491
土地	26,942	26,942
その他(純額)	339	312
有形固定資産合計	30,781	30,745
無形固定資産		
その他	58	55
無形固定資産合計	58	55
投資その他の資産		
投資有価証券	47,744	47,571
その他	4,898	5,451
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	52,640	53,021
固定資産合計	83,480	83,822
資産合計	139,965	139,987

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,846	2,758
未払法人税等	4,604	2,690
賞与引当金	2,498	3,088
その他	3,437	3,716
流動負債合計	13,386	12,254
固定負債		
退職給付引当金	4,657	4,802
役員退職慰労引当金	669	684
資産除去債務	125	138
その他	6	4
固定負債合計	5,458	5,630
負債合計	18,844	17,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,530
利益剰余金	99,166	100,544
自己株式	△18,498	△18,498
株主資本合計	119,376	120,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,495	3,099
土地再評価差額金	△1,751	△1,751
その他の包括利益累計額合計	1,743	1,347
純資産合計	121,120	122,102
負債純資産合計	139,965	139,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	11,141	12,314
売上原価	4,396	4,736
売上総利益	6,745	7,577
販売費及び一般管理費	2,419	2,617
営業利益	4,326	4,960
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	176	191
投資有価証券売却益	10	—
持分法による投資利益	302	369
受取賃貸料	20	24
その他	51	55
営業外収益合計	565	647
営業外費用		
賃貸費用	30	29
その他	4	1
営業外費用合計	34	30
経常利益	4,856	5,577
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	1
投資有価証券評価損	207	—
その他	0	0
特別損失合計	208	2
税金等調整前四半期純利益	4,648	5,575
法人税、住民税及び事業税	2,198	2,596
法人税等調整額	△572	△641
法人税等合計	1,626	1,954
少数株主損益調整前四半期純利益	3,021	3,620
少数株主利益	—	—
四半期純利益	3,021	3,620

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,021	3,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,047	389
持分法適用会社に対する持分相当額	△332	△785
その他の包括利益合計	△1,380	△396
四半期包括利益	1,640	3,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,640	3,224
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,648	5,575
減価償却費	79	75
持分法による投資損益(△は益)	△302	△369
投資有価証券評価損益(△は益)	207	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	58	145
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	418	590
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△38	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△5
受取利息及び受取配当金	△181	△199
固定資産除却損	0	1
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,346	718
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17	56
仕入債務の増減額(△は減少)	△133	△87
その他	57	△36
小計	6,140	6,478
利息及び配当金の受取額	451	536
法人税等の支払額	△2,031	△4,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,560	2,542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	28	—
有形固定資産の取得による支出	△15	△24
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△0	△1
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	13	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,648	△2,242
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,648	△2,242
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,925	273
現金及び現金同等物の期首残高	39,609	44,460
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,535	44,733

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①販売実績

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
システムインテグレーション事業	6,377	57.2	7,345	59.6	968
システムサポート事業	3,355	30.1	3,597	29.2	241
オフィスオートメーション事業	1,408	12.7	1,371	11.2	△37
合 計	11,141	100.0	12,314	100.0	1,172

②受注実績及び受注残高

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		増 減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
システムインテグレーション事業	7,444	16,654	8,110	16,673	665	19
システムサポート事業	3,720	17,879	3,960	18,327	240	447
オフィスオートメーション事業	1,361	547	1,531	768	170	221
合 計	12,526	35,081	13,602	35,769	1,076	688